

ス ポ ー ツ 振 興 課 よ り

■ 令和元年度神奈川県スポーツ少年団競技別交流大会競技結果報告

全国競技別交流大会（神奈川県予選会）

1 第45回神奈川県スポーツ少年団剣道交流大会兼第42回全国スポーツ少年団剣道交流大会
神奈川県会予選会

・期 日 令和 元年12月7日（土） ・場 所 県立武道館

・参加数 22団体（個人戦：235名、団体戦：12団体）

種別	優勝	準優勝	第3位	
団体戦	光武館道場 (相模原)	菅原剣士会 A (愛川)	養浩館道場 (横浜)	山桜剣道クラブ (伊勢原)
中学男子	岡田 篤也 (光武館)	野崎 唄 (山桜剣道)	海老根 晴 (橋本剣士会)	鈴木 月翔 (菅原剣士会)
中学女子	伊藤 凧沙 (養浩館)	小林 真緒 (第二小剣友会)	勝目 真優 (光武館)	大場 なつみ (港北少年)
6年男子	上野 幹 (光武館)	伊藤 壮太 (養浩館)	坂倉 匠 (養浩館)	鈴木 琢真 (菅原剣士会)
6年女子	新橋 ちはる (光武館)	古味 里桜 (山桜剣)	中尾 釉 (座間剣士)	林 柚夏 (菅原剣士会)
5年男子	千葉 大和 (光武館)	藤林 粹平 (光武館)	伊藤 謙三 (相武台)	木山 虎乃佑 (相模北署)
5年女子	黒沢 つきか (山桜剣道)	山下 志穂乃 (養浩館)	小林 珠緒 (第二小)	新井 楓夏 (久里剣友)
4年男子	伊藤 匠汰 (養浩館)	佐々木 源純 (久里剣友)	森川 誠志朗 (光武館)	横溝 漣音 (養浩館)
4年女子	勝目 詩帆 (光武館)	長谷川 夢愛 (港北少年)	飯田 紅愛 (中津少年)	佐藤 菜月 (中津少年)

2 第17回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会神奈川県会予選会

・期 日 令和 元年12月14日（土）、15日（日）

・場 所 予選：藤沢市立高谷小学校体育館、藤沢市立羽鳥小学校体育館、川崎市立平間小学校体育館、
大和市立草柳小学校体育館、綾瀬市立綾西小学校体育館、座間市立座間小学校体育館、
相模原市立内郷小学校体育館、県立スポーツ会館体育館

決勝：ひらつかサン・ライフアリーナ

	男 子(参加数 9チーム)	女 子(参加数 38チーム)
優 勝	銀河SCペガサス(川崎市)	HAND TIGERS(座間市)
2 位	北相チェリッシュ(相模原市)	緑台バレーボール(伊勢原市)
3 位	藤沢クラブ(藤沢市) 大谷戸JVC(川崎市)	ラビットSC(川崎市) スカイラク(藤沢市)

■ 研 修 会

メディカルサービスステーション（体操フェスティバルヨコハマ 2019）

令和元年度最初のメディカルサービスステーションを11月4日（月）に横浜文化体育館にて開催された体操フェスティバルヨコハマ2019において開設した。

神奈川県鍼灸マッサージ師会から15名のトレーナーに参加していただいた。

利用者は、92名で施術内容は、マッサージ、按摩、指圧、鍼、ストレッチであったが、演技前のコンディショニングより、演技後に疲れた体をほぐしてもらうことや、慢性化した各部の痛みなどを軽減するためにマッサージを受けに来る人がほとんどであった。受診されたほとんどの方が施術に対して満足した、また受けたいと好評価であり、40歳～70歳代の女性が全体の8割以上を占めた。

毎年このメディカルサービスステーションを楽しみにされている方も多く見受けられる一方、鍼を初めて体験したという声もあり、家の近くでも鍼灸、マッサージを受けたいという問い合わせもあった。

現在の横浜文化体育館が2020年9月に閉館し、跡地に新しくメインアリーナ（2024年開館予定）が建設されることから、今大会が横浜文化体育館で行う最後の大会となった。次年度の大会については2020年7月に新たに開館する、横浜武道館で11月8日に行われる予定。施術スペース等、実行委員会と検討しながら、多くの方にトレーナー活動や鍼灸師会の活動を理解していただくためにも、可能な限りメディカルサービスステーションを開設していきたいと思っております。

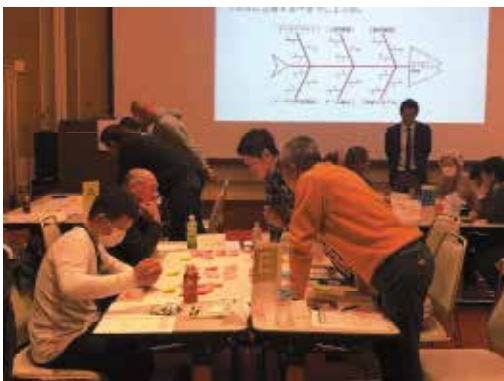


神奈川県スポーツ指導者研修会Ⅱ

公認スポーツ指導者の資格更新のための研修会となる、「神奈川県スポーツ指導者研修会Ⅱ」を、令和元年12月7日（土）、かながわ労働プラザにて開催した。

「これからのスポーツ指導者に求められるコーチング」と題し、東海大学の小山孟志先生（JSP0公認スポーツ指導者養成講習会コーチデベロッパー）に講義をお願いした。競技や資格が異なる公認スポーツ指導者資格を持った方々45名が参加した。

導入のコミュニケーションでは、グループ分け、自己紹介、名札づくりを行い、講義がスタートした。これまでありがちな指導者から選手に対する一方通行のティーチングから、選手に寄り添い、答えを選手自らが考え発言し、共に行動していくコーチングが求められているということ



を、アクティブ・ラーニング形式により実践していった。3時間の講義だったが、話し合う時間が多く、机に座って話を聞いているだけという時間はほとんどなかった。自らのコーチング哲学や選手に対する質問の仕方等、色々なことに気づきの体験をしたのではないと思う。この研修をきっかけに、現場で何気なく使っている選手への言葉がけが変わり、選手との関係がより良いものになっていくことを期待したい。